



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月8日

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社
コード番号 3766 URL <https://www.sdcj.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 隈元 裕
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理業務担当 (氏名) 長谷 賢一
四半期報告書提出予定日 2023年11月8日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 有

上場取引所 東
TEL 03-5300-7800

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,582	0.3	225	14.7	260	3.3	153	5.2
2023年3月期第2四半期	4,568	15.0	264		268		162	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 164百万円 (5.3%) 2023年3月期第2四半期 155百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	45.10	
2023年3月期第2四半期	47.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	5,996	4,281	71.4	1,254.85
2023年3月期	5,924	4,195	70.8	1,231.40

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 4,281百万円 2023年3月期 4,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		24.00	24.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,421	0.1	390	33.6	398	34.2	231	39.1	68.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	3,500,000 株	2023年3月期	3,500,000 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	87,914 株	2023年3月期	92,714 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	3,409,200 株	2023年3月期2Q	3,407,315 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の制限緩和により、経済社会活動の正常化が進み、雇用・所得環境の改善も含め、緩やかな回復の動きが見られる一方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の低迷がわが国の景気を下押しするリスクがあります。また、原材料価格の高騰に伴う物価高や金融資本市場の変動などの影響も十分注意する必要があります。

当社グループの属する情報サービス分野においても、新型コロナウイルス感染症が「5類」へ変更されたものの、引き続き企業のテレワーク環境の整備などのワークスタイルの変革や、生産性の向上、競争力強化のためのDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みが定着しており、社会全体としてもデジタル化への更なる転換が求められております。一方で、物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状態が続くと想定され、引き続き国内外の動向を注視する必要があります。

このような状況の下、当社グループでは、従業員の在宅勤務等に対応しつつ、継続案件や新規案件の受注確保、低採算案件の収益性の改善、人材育成及び採用活動への投資などに注力してまいりました。また、中期経営計画の基本方針の一つである「SDGsを推進する」につき、各種施策を進めており、当社グループ全体として企業理念である「ステークホルダーとともに社会の持続的な成長に貢献する」の実現に向けて、積極的に取り組みを行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,582,899千円（前年同期比0.3%増）、営業利益は225,775千円（前年同期比14.7%減）、経常利益は260,001千円（前年同期比3.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は153,767千円（前年同期比5.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① システム開発事業

システム開発事業につきましては、前期業績を牽引した主要顧客のシステムリプレースに伴う周辺案件の獲得の他、ローコード開発ツールを活用した開発業務や子会社の業績も堅調であったため、売上、利益共に好調であった前年同期とほぼ同水準で推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,544,945千円（前年同期比0.2%増）、営業利益は176,475千円（前年同期比0.2%減）となりました。

② アウトソーシング事業

アウトソーシング事業につきましては、子会社も含め、前期、営業利益を大きく押し上げた新型コロナウイルス関連の特需が収束したこともあり、売上はほぼ同水準を維持したものの、利益は減少する結果となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,037,954千円（前年同期比0.4%増）、営業利益は49,299千円（前年同期比43.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加等により前期末比72,598千円増の5,996,723千円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の発生による利益剰余金の増加等により前期末比85,911千円増の4,281,646千円となり、自己資本比率は71.4%となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末比282,555千円増の3,132,472千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は473,299千円（前年同期は363,637千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が260,001千円、売上債権及び契約資産の増減額275,285千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は107,774千円（前年同期は45,936千円の使用）となりました。これは主に保険積立金の積立による支出103,041千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は82,969千円（前年同期は52,913千円の使用）となりました。これは主に配当金の支払額81,774千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、今後の企業動向に引き続き注視する必要がある他、下期から人的資本投資の拡充を実施していることもあり、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,849,917	3,132,472
受取手形、売掛金及び契約資産	1,726,013	1,450,727
商品及び製品	42,702	43,128
仕掛品	2,161	8,863
原材料及び貯蔵品	5,351	6,032
その他	96,123	88,161
貸倒引当金	△1,429	△941
流動資産合計	4,720,839	4,728,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	387,742	387,742
減価償却累計額	△273,718	△278,271
建物及び構築物(純額)	114,024	109,471
土地	95,191	95,191
リース資産	10,860	10,860
減価償却累計額	△5,068	△6,154
リース資産(純額)	5,792	4,706
その他	241,149	245,383
減価償却累計額	△199,946	△205,363
その他(純額)	41,203	40,020
有形固定資産合計	256,210	249,388
無形固定資産		
のれん	214,562	171,735
ソフトウェア	12,117	10,613
その他	6,787	6,787
無形固定資産合計	233,467	189,136
投資その他の資産		
投資有価証券	74,970	95,012
繰延税金資産	257,671	253,133
その他	380,965	481,606
投資その他の資産合計	713,607	829,752
固定資産合計	1,203,284	1,268,278
資産合計	5,924,124	5,996,723

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	51,239	20,547
リース債務	2,389	2,389
未払金	568,837	556,481
未払法人税等	132,571	125,212
契約負債	40,182	53,014
賞与引当金	177,750	209,355
役員株式報酬引当金	3,445	-
その他	238,180	248,759
流動負債合計	1,214,596	1,215,759
固定負債		
リース債務	3,982	2,787
役員株式報酬引当金	20,279	24,414
退職給付に係る負債	450,710	436,021
資産除去債務	3,169	3,169
その他	35,652	32,925
固定負債合計	513,793	499,317
負債合計	1,728,389	1,715,077
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	293,629	294,784
利益剰余金	3,589,601	3,661,594
自己株式	△44,716	△42,401
株主資本合計	4,172,421	4,247,884
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,953	18,906
退職給付に係る調整累計額	18,360	14,854
その他の包括利益累計額合計	23,313	33,761
純資産合計	4,195,734	4,281,646
負債純資産合計	5,924,124	5,996,723

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,568,722	4,582,899
売上原価	3,579,008	3,572,774
売上総利益	989,713	1,010,125
販売費及び一般管理費	725,010	784,350
営業利益	264,703	225,775
営業外収益		
受取利息	5	18
受取配当金	1,933	1,590
助成金収入	1,824	32,112
その他	453	505
営業外収益合計	4,217	34,226
経常利益	268,921	260,001
税金等調整前四半期純利益	268,921	260,001
法人税等	106,758	106,233
四半期純利益	162,162	153,767
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,162	153,767

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	162,162	153,767
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,971	13,953
退職給付に係る調整額	△1,254	△3,505
その他の包括利益合計	△6,225	10,448
四半期包括利益	155,936	164,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,936	164,216
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	268,921	260,001
減価償却費	12,621	12,559
のれん償却額	42,826	42,826
賞与引当金の増減額 (△は減少)	31,630	31,605
役員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	3,896	689
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△414	△488
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	1,867	△19,740
受取利息及び受取配当金	△1,939	△1,608
助成金収入	△1,824	△32,112
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	96,980	275,285
未払金の増減額 (△は減少)	△21,783	△11,701
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△19,031	△7,807
仕入債務の増減額 (△は減少)	△16,548	△30,692
その他	9,412	31,869
小計	406,613	550,684
利息及び配当金の受取額	1,939	1,592
助成金の受取額	1,824	32,112
保険金の受取額	-	76
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△46,740	△111,167
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,637	473,299
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△10,000	-
有形固定資産の取得による支出	△10,886	△4,889
ソフトウェアの取得による支出	△7,912	-
敷金及び保証金の差入による支出	△4,740	-
敷金及び保証金の回収による収入	-	156
保険積立金の積立による支出	-	△103,041
その他	△12,397	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,936	△107,774
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△51,109	△81,774
その他	△1,803	△1,194
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,913	△82,969
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	264,787	282,555
現金及び現金同等物の期首残高	2,430,222	2,849,917
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,695,009	3,132,472

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開 発	アウトソー シング	合計		
売上高					
外部顧客に対する 売上高	2,538,837	2,029,885	4,568,722	—	4,568,722
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,538,837	2,029,885	4,568,722	—	4,568,722
セグメント利益	176,785	87,917	264,703	—	264,703

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開 発	アウトソー シング	合計		
売上高					
外部顧客に対する 売上高	2,544,945	2,037,954	4,582,899	—	4,582,899
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,544,945	2,037,954	4,582,899	—	4,582,899
セグメント利益	176,475	49,299	225,775	—	225,775

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	システム 開発	アウトソ ーシング	計		
一時点で認識する収益	230,042	97,382	327,425	—	327,425
一定の期間にわたり認識する収益	2,308,794	1,932,502	4,241,297	—	4,241,297
顧客との契約から生じる収益	2,538,837	2,029,885	4,568,722	—	4,568,722
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,538,837	2,029,885	4,568,722	—	4,568,722

当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	システム 開発	アウトソ ーシング	計		
一時点で認識する収益	165,051	107,088	272,140	—	272,140
一定の期間にわたり認識する収益	2,379,893	1,930,865	4,310,759	—	4,310,759
顧客との契約から生じる収益	2,544,945	2,037,954	4,582,899	—	4,582,899
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	2,544,945	2,037,954	4,582,899	—	4,582,899